

RPA 導入及び運用保守事業者プロポーザル選定委員会 議事要旨

開催方法	電子会議室による書面開催
開催期間	令和2年8月19日から8月20日まで
案 件	RPA 導入及び運用保守委託業務に係る最優秀提案者の選定
出席者	<p>[委員]</p> <p>行政経営部長（委員長） 行政経営部 情報政策室長（副委員長） 税務部 市民税課長 市民部 国民年金課長 健康医療部 国民健康保険課長</p> <p>[評価部会長]</p> <p>行政経営部情報政策室 参事</p> <p>[事務局]</p> <p>行政経営部情報政策室</p>
<p>議題1 評価部会による審査結果の報告</p> <p>資料1、資料2、資料3、資料4により評価部会による審査結果を報告</p> <p>[委員からの意見等]</p> <p>(1) A社・B社ともRPAツールのユーザビリティ等については実際に使ってみないとよく分からないところはあるが、選定については評価部会の審査結果のとおりで問題ない。</p> <p>(2) 二次審査におけるB社の点数が低いことが目についたが、評価部会における意見交換概要等を参考にすると妥当であり、評価部会で審査した結果について特に意見はない。</p> <p>(3) 採点者によって点数に開きがある審査項目があるが、これらは採点者が持っている知識の違いに起因するものなのか、または採点者の所属部署による視点の違いに起因するものなのか。</p> <p>回答（評価部会長）</p> <p>採点者5名の内訳は業務主管課3名、情報政策室2名であり、採点にあたっては業務主管課の採点者は「業務ベースでどれだけ自部署の業務になじむか」、情報政策室の採点者は「RPAの運用管理や、あるいはプロジェクトの管理能力としてどうか」というような視点を主として採点を行っているため、その違いはあるかと思慮している。</p> <p>なお、採点者の意見として、資料4にも記載のとおり「A社のほうが使いやすそうだが、B社のほうがプロジェクト管理能力としては優れていそう」というようなものが出ている。</p>	

(4) 評価部会における採点者数5名は適正なのか。

回答(事務局)

採点者については、プロポーザルガイドラインに則り第1回選定委員会にて実施要領を定めた上で手続きを進めているが、評価部会の構成を選定委員会に準じたものとする事で、選定委員会の審査に資するような補助執行とできるように考えた。

従って、本件についての採点者5名については調達の本旨に照らして適切であると認識しているが、今後のプロポーザル調達における参考として、引き続き情報政策室としても最適なプロポーザルの在り方を検討していく。

議題2 選定委員会による審査

- ・委員からの点数の補正提案はなし。
- ・評価部会の各構成員の審査結果を合計したものを選定委員会における審査結果として確定。

議題3 価格審査結果及び最終審査結果の公表並びに社名の公表

- ・価格審査結果について資料5で報告
- ・価格審査の点数を加算した最終審査結果について資料6で報告
- ・社名を公表

議題4 最優秀提案者の決定

B社「株式会社日立システムズ 関西支社」を最優秀提案者として決定。

[委員からの意見等]

今後選定事業者と契約交渉を進めていく上で、以下2点を要望する。

- ① 本市介護保険システムベンダーであるため、同システム構築業務で習得した、新技術のノウハウ・管理手法を十分生かしてほしいこと。
- ② 人材育成のための研修内容について充実できる案があれば、自学も含めて提案いただきたいこと。

以上